

界でゼロになるのは難しいと思います。だけでも、少なくすることならできます。一人が気を付け、事故を起こさない、という意識をもつことで交通事故、交通死亡事故が少なくなっていくしてほしいです。

優秀賞

『町民の努力を町の発展に生かす』



菊池愛奈さん

みなさんは、藤里町で交通事故が少ないうことをあたり前に思っていますか。連日、ニュースで多く目にするのは、世界各地の事件なのですが、事故のニュースもたくさん目にすると、私には、そのようなニュースを見た時、私はとても命がもつたないなあと、私には、まだまだ楽しいはずだった人生を交通事故のせいで失ってしまうのは、本人も残された家族も、一番悔しいと思うからです。だから私は、交通事故にあわないために、自分に何が出来るのか考えてみました。

一つ目は交通ルールをしっかり守ることです。例えば、夏休み中、自転車通学する時、信号がしっかり青になってから渡る。横断歩道を渡る時、自転車から降りて渡るなど、とても基本的なことですが、このようなことを常に意識していました。

二つ目は、周りへのサポートです。例えば親が車を運転していて、自分もその車に乗っていたら、「ここ、一時停止だ

よ。」「左から車がきたよ。」など、自ら積極的に声を出すことで、運転は出来ないけれども、最低限のサポートなら、中学生の私たちでも実行することが出来ると思います。特に、おじいちゃん、おばあちゃん世代が増えてきている世の中です。だからおじいちゃん、おばあちゃんでも車の運転をする人は多くいます。実際に私のおじいちゃんとおばあちゃんも車を運転しています。そういう時こそ、たくさん会話をし、交通安全への意識をもつともっと高めてもらいたいです。では、交通安全の意識を私だけでなく、もっとたくさんの人にも高めてもらうにはどうしたらよいのでしょうか。私が考えたのは次の二つです。

一つ目は交通安全に関するポスター、標語、作文コンクールなどに積極的に応募することです。そうすることで自分の意志を伝えることができ、周りの人の意識の高さも変わってくると思います。

二つ目は、自分でできることを積極的に実行することです。それを見て、まねをしてくれる人がいれば、その輪が広がり、みんなに良い習慣がつかはらずです。世界中の人々全員が、というのはなかなか難しいと思いますが、それで事故が一件でも少なくなるのなら、やってみる価値はあると思うので私は実行しようと思います。

交通事故というのは、一瞬の気の緩みが原因だと思っています。例を挙げると、飲酒運転、わき見運転、ながら運転などです。これらは一人一人の交通安全への意識が低いから起きてしまつ事故なのです。意識を高くもてば、落とさなくてもいい命を落とす必要もないし、みんなが安心して暮らせる世の中に近づくことができます。

私が今回、作文を書いて、たくさん考



水戸芹奈さん

最優秀賞



ポスターの部

えた結果、気付いたことがあります。それは、藤里町で交通事故が少ない理由です。一番に考えられるのは、一人一人の交通安全に対する意識が高いことです。他の町の人の中には、人口が少ないから、などと言う人がいるかもしれませんが、私も以前は少しそう思っていました。でも、それは違います。町で交通事故が少ないのも、交通死亡事故ゼロが六千日以上続いているのも、全ては町民の努力があるからです。その大きな努力は、もっと胸を張っていいことだと思います。しかし、私は、この努力をここで終わらせたくはありません。もっともっと交通死亡事故ゼロ日数の記録を更新してほしいです。そして、たまに藤里町で発生している、死亡事故まではいかなかった交通事故もゼロを目指したいと私は思います。安全、安心に暮らせる藤里町の魅力をたくさん発信し、町の発展に「交通安全」が少しでも役立つように、私はこれから、より一層努力をしたいです。

優秀賞



小山和さん

優秀賞



市川陽菜さん